

# 地方創生推進交付金

資料 3

29年度予算額 1,000億円 (28年度予算額 1,000億円)

## 事業概要・目的

○本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方創生推進交付金により支援

① 地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援

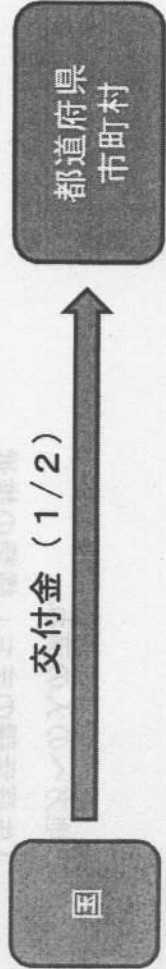
② KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援

③ 地域再生法に基づく法律補助の交付金とし、安定的な制度・運用を確保

※ 地方公共団体は、対象事業に係る地域再生計画（5ヶ年度以内）を作成し、内閣総理大臣が認定



## 資金の流れ



(1/2の地方負担については、地方財政措置を講じる)

## 対象事業・具体例

### ①先駆性のある取組

- ・ 官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、中核的人材の確保・育成
- 例) ローカル・イノベーション、ローカル・ブランディング (日本版DMO)、生涯活躍のまち、働き方改革、小さな拠点等

### ②先駆的・優良事例の横展開

- ・ 地方創生の深化のすそ野を広げる取組

### ③既存事業の隘路を発見し、打開する取組

- ・ 既存事業の隘路を発見し、打開するための取組

## 29年度からの運用弾力化

### ① 交付上限額の引上げ (事業費ベース)

【都道府県】	先駆	6.0億円 (28年度: 4.0億円)
	横展開・隘路打開	1.5億円 (28年度: 1.0億円)
【市区町村】	先駆	4.0億円 (28年度: 2.0億円)
	横展開・隘路打開	1.0億円 (28年度: 0.5億円)

※ 地方の平均所得の向上等の観点から特に効果的な取組は、交付上限額を超えて交付することが可能。

### ② ハード事業割合

- ・ 計画期間を通じたハード事業の割合は、原則として1/2未満。
- ・ ただし、1/2以上になる事業であっても、地方の平均所得の向上等の観点から地方創生への高い効果が認められる場合は申請可能。

○地方への人の流れ

「生涯活躍のまち」構想の推進

事業名	匠瑳市版生涯活躍のまち形成事業	交付予定額	2,343千円
地方公共団体名	千葉県匠瑳市（そうさし）		
事業概要	<p>～多世代が集う拠点の整備によるアクティブシニアの移住促進～</p> <p>東京都等の都市部からのアクティブシニアの移住を進めるため、飯倉駅に隣接する旧ショッピングセンター跡地に、社会福祉法人がサービス付高齢者住宅、特別養護老人ホーム、地域交流拠点施設、認定こども園を整備し、市はまちづくり協議会の運営、地域交流拠点施設へのコーディネート者の配置、移住・生活支援サービス・社会活動等に係る総合窓口対応やアクティブシニアの生きがいづくりの場（生涯学習、就農等）に対する支援を行う。</p> <p>&lt;重要業績評価指標（KPI）&gt;                  移住者数：0人（H29.3） → 30人（H34.3）</p>		

○まちづくり

事業名	選ばれるまちづくり推進事業	交付予定額	10,912千円
地方公共団体名	山口県阿武町（あぶちょう）		
事業概要	<p>～空き家を拠点とした若者・子育て世帯の移住・定住～</p> <p>多様なライフスタイルを求める若者や子育て世帯をターゲットに移住・定住を促進するため、空き家を活用し、職住に関する相談のワンストップ窓口やゲストハウス、カフェ等を備えた拠点を整備するとともに、移住者の職住に関する情報発信として、空き家所有者の思いや家の歴史を掲載したWEBサイトの立ち上げや、町内の季節労働を組み合わせ年間を通じて安定的に働ける仕事パッケージの作成等を行う。</p> <p>&lt;重要業績評価指標（KPI）&gt;                  人口の社会増：0人（H29.3） → 33人（H34.3）</p>		